



茗溪 かながわ

MEIHEI KANAGAWA

NO.8

発行 神奈川茗溪会 (旧 茗溪会神奈川支部) 発行者 清水進一

平成 28 (2016) 年 6 月

茗溪かながわ 第8号 の発行に際して

神奈川茗溪会会長 清水進一

「春の叙勲の勲章伝達式」に出席 してきました

私事になりますが、このたびの春の叙勲におきまして、思いがけず瑞宝小綬章を授与されました。

学校現場二十年、教育委員会十八年の勤務で、私としてはいずれもやりがいのある充実した人生ではありましたが、教育行政の中では、色々なこともありまして、叙勲などということは思いもよらず、一時は辞退も考えましたが、私一人の実績ではなく、当時一緒に苦労した人たちが認められたのだと思ひ、有り難くお受けいたしました。

叙勲の通知が私の手元に届いたのは、四月二十二日付の文部科学大臣名による文書でした。

私としては、行政時代は数カ月も夜中の帰宅や徹夜が続くなど、妻や子どもたちには大変な苦勞を掛けましたので、妻を同伴することにしました。

伝達式は、五月十二日(木)に国立劇場で行われました。文科省関係の受章者は七五二名ということで、会場には配偶者を含め一五〇名以上が集まり、馳文部科学大臣を筆頭に義家副大臣から局長クラスまでの幹部が壇上に、受章者側は中綬章から単光章まで八グループの代表者が壇上に上がり、一人



ひとり馳大臣から勲記と勲章を受章しました。

旭日小綬章は歌手の北島三郎さんが代表で、馳大臣からは「サブちゃん、おめでとー」と声をかけられ、会場が和やかになりました。

客席に着席していた私たちは、式終了後、順に文科省幹部から勲記と勲章を授与され、会場を出る際に職員に勲章を胸につけてもらいました。

皇居には三五台のバスに分乗して向かいました。正月の一般参賀で天皇ご一家がお立ちになる「春秋の間」の中が拝謁の会場で、当日は、文科省関係だけではなく、外務省・会計監査院・経済企画省他の省庁の受章者も一緒に、約二〇〇〇名が入室しました。

陛下が侍従を従え入室され金屏風の前にお立ちになったところで、受章者代表の謝辞ののち陛下からねぎらいのお言葉があり、その後、受章者と配偶者の間をお通りになりました。

私は、昨年受賞された茗溪の先輩から拝謁の様子を事前に聞いてい

ましたので、受章者の最後尾に並んだため、陛下が目の前をお通りになり、微笑んでいただいたのには感激いたしました。

このたびの叙勲に際し、特に上司でもあった茗溪の先輩方からお祝いの言葉をいただき、在職当時の同僚や一緒に苦労した部下たちから、また、教え子たちから本当にうれいという言葉をいただき、辞退しないよかったと思つていきます。

県を退職後、十年間お世話になった神奈川工科大学も三月に退職しましたが、二年前に発病した病の治療の必要もあり、茗溪会には大変迷惑をかけていますが、神奈川茗溪会の充実のため、今後とも皆さんのご協力をお願いいたします。

ラグビーと筑波大学

二〇一五年、ラグビーワールドカップにおける日本チームの活躍を機に、俄かなラグビーブームが起きていくことは、周知の事実であろう。

その代表チームに筑波大学ラグビー部の福岡堅樹(ふくおかけんき)選手がいたことをご存知であろうか? 彼の出場したスコットランド戦で、彼は徹底マークされその俊足を封じられたが、今後も日本ラグビーを牽引する最前の選手であることは間違いない。その他にもジャパン代表の選手や社会人トップリーグの選手を筑波ラグビー部は多く輩出している。

筑波大学ラグビー部は一九二四年に、東京高等師範学校のラグビークラブとして創部された。

一九四九年に、東京教育大学ラグビー部へ、一九七四年からは、筑波大学ラグビー部となり現在に至っている。

日本の国立大学のラグビー部では、名実共に最強のチームである。二〇一二年度には、関東大学ラグビー対抗戦で初優勝を果たした。さらに、同年度の大学選手権では、国立大学で初の決勝進出を果たし、準優勝を記録した。

このような活躍に筑波大学ラグビー部は、日本中の優秀な高校生選手の憧れの的となっている。



「筑波は選手の自主性主体性が尊重されている。しつかり学問にも打ち込む。」といった他の強豪校とは一線を画した評価をいただいている。確かに先ほどの福岡選手も情報学類を今春卒業し来期からはパナソニックのメンバーとなるが、引退後は医学部進学をキャリアに見据えている。こうした例に見られる様に、高いレベルでの文武両道を果たした有為な卒業生を輩出している。

茗溪の皆さん、筑波ラグーマンをぜひ応援してほしい。

加藤 充洋 (昭五六卒 一社)

神奈川で開かれた茗溪のつどい

桐心会

平成二十八年三月十二日(土)
「北京飯店大和」
参加者 三十六名

茗溪会体育関係者で組織する桐心会総会と懇親会が今年も盛大に開催されました。

懇親会では、落会長の挨拶、宮原孝雄先生(昭和三十年卒)の乾杯のご発声の後、各テーブルでは、賑やかな歓談が続きました。

また、土方多美枝先生(昭和二十九年卒)や鈴木中先生(昭和三十三年卒)も元気なお姿で、後輩に温かいメッセージを送ってくださいました。

さらに、バスケットボール部O.B.・OG会長である桑原信先生(昭和三十五年卒)から昨年十一月に開催されたインカレにおいて、バスケットボール部が国立大学初の男女アベック優勝を成し遂げた報告があり、大きな拍手に包まれました。

会員の近況報告をした後、最後は、全員で円陣、肩を組み宣揚歌「桐の葉」を声高らかに歌いました。

会長 落信久
副会長 矢島博

文責 大石進(昭五五卒 筑体)



若手交流会

平成二十七年十一月二十一日(土)、四回目の若手交流会が開催されました。

毎年恒例となり、回を重ねる毎に参加者も増え、今回は十八名の参加でした。嬉しい限りです。「宿舎」「ビッグ井」「バレーボール」等の筑波らしい共通項で話が盛り上がることもあれば、幅広い世代の方と話をすることで、大学の構内の様子や研究学園都市の変遷を感じることもできました。



昨年に引き続き、合田夫妻と紫峰ちゃんも参加。紫峰ちゃんは、小学校5年生。すっかり“おとな”になって、ビックリ。

また今回は、筑波大学とフランスのポルドー大学との教育・研究交流の記念として開発された赤ワインを、清水会長より贈っていただきました。話の盛り上がりから筑波の懐かしい空気を感じ、赤ワインから筑波の新しい空気を感じ、楽しい特別な時間を過ごすことができました。

さて、今年は五回目を迎えます。発足から引つ張って頂いた乾高章氏より、この会の代表を引き継がせて頂きます。「筑波時間を共有する神奈川の仲間」が集う会にしたいと思います。多くの方の参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

若手交流会 代表 高橋 一郎
(平成十九卒 筑社)

管理職の会

神奈川茗溪会 校長・副校長・
教頭・総括教諭・行政職 懇親会



平成二十七年十二月五日(土)、ローズホテル横浜において、標記懇親会が開催されました。今回は、神奈川茗溪会から、川田孝一顧問、矢野正人顧問・事務局長をお招きし、教育職関係者・総勢二十六名が横浜の地に集いました。

この会は、関係会員相互の交流に加え、前年度退職の会員の歓送も兼ねており、今回は前年度の退職者のうち、大畑多津雄様(前教育委員会教育局指導部長)、瀬木明様(前舞岡高等学校長)のご出席をいただきました。

加藤充洋(座間総合高等学校長)、中野久美子(元石川高等学校教頭)両氏の司会進行により、発起人代表・佐藤到氏(横浜翠嵐高等学校校長)の辞で開会。



顧問川田様・矢野様の現役への激励を含めたご挨拶をいただきました。掛原豊氏(吉田島総合高等学校校長)の乾杯の発声の後、退職された大畑様・瀬木様より近況報告を含めたご挨拶をいただき、記念品を贈呈いたしました。

懇談の後、全員の前で報告が行われましたが、昨年度の「茗溪かながわ」第六号に掲載された「来年からついに「つくば」の時代です」通り、筑波大学生活や、学生宿舎の話で盛り上がりました。偶然の一致か、同じ寮・同じ部屋に入居していた先輩・後輩がいて、驚きと懐かしさで、さらに盛り上がりを見せました。

宴終盤、大石進氏(城山高等学校校長)の指揮のもと、恒例の宣揚歌「桐の葉」を声高らかに斉唱・力強いエールを上げ、林忠氏(大和高等学校校長)の閉会の辞で座を締めくくりました。

添野 龍雄(昭五七卒 筑農林)

茗溪の水

全国理事就任の挨拶

加藤 充洋(昭五六卒 一社)



西塚先輩の後を引き継ぐ形で茗溪会理事に就任いたしました加藤です。適任とは思っていませんが清水会長から「ひとつ頼む！」と請われれば断るわけにはいきません。未熟者ですが神奈川茗溪会の代表の立場を意識して任にあたりたいと思います。

さて、私は今まで一度だけ、神奈川の代議員として茗溪会総会に出席したことがあります。初めての茗溪会館で億を上回る会計報告を開き、その組織の大きさと伝統の重さに圧倒されたのを覚えています。今度は理事としてさらに中樞部を伺うことになり、責任を感じています。

特に今は大塚の地の卒業生から筑波の地の卒業生に割合を移しており、この節目を組織としてどう乗り越えるべきかを考える時期なのだと思います。私自身、大塚の地は入学試験と発表の折に来ただけで

けで、四年間筑波で過ごしました。だから間もなく話題も筑波の地の話題に移っていくのでしょうか。

しかし一方で私達筑波世代も宣揚歌を歌い繋いできました。さらに歌詞は筑波を詠んだ四番が加わりました。茗溪会には大きな変化を包容し連綿と繋がる強い意志があります。

茗溪の同窓には、筑波に移っても東大でもなければ早慶とでもない独特の気風を感じるときがあります。「血は水よりも濃し」

私達は血縁ではありませんが、赤の他人より頼れる同窓の仲間との不思議な繋がりをお願いしたいという思いです。難しく考えずに同窓と築しみ後輩を応援することを考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

怖がらずにやっつけよう

脇 千登勢(平二五卒 筑体)

私は、平成二十五年三月に筑波大学体育専門学群を卒業いたしました。この四月より神奈川県立神奈川総合産業高等学校に勤務しております。

茗溪会の先輩方におかれましては教員採用試験の際に多大なるご指導、お力添えをいただきました。誠にありがとうございます。このご縁を大切にして今後とも学ばせていただきたいと思っております。

私の夢、それは子どもにも勇気を与えることです。

私は高校時代の恩師から「適材適所」という言葉を学びました。「あなたのできる事をやればいい」という一言で私の心の力みが取れ、存在を肯定されたような温かな気持ちを感じた時、これを追求することが私の使命ではないかと思いました。

講師として勤務した昨年までは、こんなにもやることがあるのかと驚きと不安を感じながら歩む毎日でした。現在は「とにかく何でもやってみよう！」という気持ちで日々を過ごしています。体で学び、物事の全体像が見えた後に自分が何をすべきか判断できるようになるのではないかという思いで、今を大切にしていこうと思っております。

私の夢を語らせていただきましたが、「やっつけらん」というからには私自身も「やっつみる」を続けなくてはなりません。今の挑戦するエネルギーを消さないように、今後とも精進していく所存です。



退職を迎えて

掛原 豊(昭五四卒 筑農林)

この3月に無事吉田島総合高校で教職にピリオドを打つことができました。

クラス担任を通算十九年間持つことができ、構成的グループエンカウンターや班日直制を実践することができました。

また、一昨年、吉田島総合高校の演習林の全校での活動が、かながわトラスト緑財団から認められ、学校緑化コンクールで最優秀県知事賞、さらに国土緑化推進機構主催の全日本学校関係緑化コンクールにおいて、学校林等活動の高校の部で全国一位となりました。その関係で昨年五月には、石川県で実施された全国植樹祭で、農林水産大臣賞を、担当教員と学校代表として拝受いたしました。

前日には、天皇皇后両陛下とのレセプションに出席し、特に皇后陛下とは学校の演習林の活動などを説明し、間近でお話することができました。最後の年にこの体験を得たことは大変すばらしいことであり、思い出に残ります。

さて、現在、神奈川工科大学で学生支援の仕事をしております。今まで公立高校という立場でしたが、学生数が減少する中で私立大学の生き残り戦略など、経営

の企業努力を実感しているところでもあります。

個人的には、先日のゴールデンウィークに、今まで行けなかった山梨の温泉に行つてまいりました。温泉にきている人との交流では、新たな発見があり楽しく過ごせました。

日頃から健康面に心がけようと思っております。

精神面では、「非二元」(物質とそうでないものの性質を探索する)の分野で、自分自身を観察する視点を探っています。今まで教員として、生徒の自己実現を促進するべく尽力してまいりましたが、心理学者のマズローは、その先に「自己超越」があると指摘しています。ここが今後の私のテーマでもあります。



「今、東京のオリンピックセンターで、農業校長会の総会で感謝状の表彰を受けに来ています。会場で撮影してもらった写真を送ります。」
(平成二十八年五月二十三日付けのご本人からのメールより)

会員の皆様

神奈川茗溪会
会長 清水 進一

神奈川茗溪会の総会と懇親会のご案内

青葉若葉のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、神奈川茗溪会の総会と懇親会を、下記の要領で開催いたしますので、どうぞ、お誘いあわせの上、奮ってご参集くださるようご案内申し上げます。

記

開催日時 平成28年7月2日(土) 11:00～(受付 10:45)

開催場所 ローズホテル横浜(☎ 045-681-3311)

●JR根岸線「石川町(北口)」より徒歩10分

●みなとみらい線「元町・中華街駅」より徒歩1分

<http://www.rosehotelyokohama.com/content/access>

日程 総会 11:00～12:00 宴会場(2階)

講演会 12:15～13:00 宴会場(2階)

懇親会: 13:00～15:30 ポール・ルーム(2階)

※当日、参加者人数により、会場が変更となる場合がございます。

懇親会費等 懇親会費等 10,000円(支部会費 1,000円を含みます。)

※当日、受付にて申し受けます。

※本年会費 3,500円/年 の納入も受け付けております。

● ご出欠席の返信 6月23日(木)までに、返信用はがきにてお知らせください。

● 支部会費納入のお願い 当日ご参加できない方は、同封の払い込み用紙にて支部会費(1,000円/年)を納入くださるようお願い申し上げます。なお、ご夫妻で会員の方につきましては、ご案内を1通とさせていただきます。ご了承ください(支部会費はお一人分で結構でございます)。

*本会の名称変更に伴い、払込み用紙の払込先(加入者名)も「神奈川茗溪会」とすべきですが、郵便局の変更手続きが煩雑なため、旧名称の「茗溪会神奈川支部」となっています。ご了承ください。

○ご不明の点は、事務局、または以下の地区委員までお問い合わせください。

○住所変更や不明会員の情報などありましたら、事務局または地区委員までお知らせください。

事務局長 矢野 正人 (s53 教院農経) 080-5410-9149 E-mail: yano@kait.jp

川崎地区【川崎市】

委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010

委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

横浜地区【横浜市】

委員 佐々木 悦子 (s46 教大体) 045-784-0670

委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354

委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046

委員 井出 真理子 (s47 教大英) 0463-71-1191

北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317

委員 本木 幹雄 (s50 教大体健) 090-3817-3402